

作成日:2010年11月25日

改定日:2022年5月30日

1.化学物質及び会社情報

化学物質の名称: 小さな消防士(プロントケール)
製品コード:
会社名: 株式会社 グローアップ
住所: 東京都中央区新川1-11-10 第二小高ビル2階
担当部門: 総務管理
担当者(作成者): 倉本 泰治
電話番号: 03(6222)8210
FAX 番号: 03(3555)8112
電子メールアドレス: info@growup-j.net
HP: https://www.growup-j.net

推奨用途及び使用上の制限:

推奨用途について: 初期消火道具、防災道具として使用する事を推奨。

使用上の制限について: 火災用として使用を制限する。

2.危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

火薬類:	分類対象外
可燃性/引火性ガス:	分類対象外
可燃性/引火性エアゾール:	分類対象外
支燃性/酸化性ガス:	分類対象外
高压ガス:	分類対象外
引火性液体:	区分外
可燃性固体:	分類対象外
自己反応性化学品:	分類対象外
自然発火性液体:	区分外
自然発火性固体:	分類対象外
自己発熱性化学品:	分類対象外
水反応可燃性化学品:	分類対象外
酸化性液体:	分類対象外
酸化性固体:	分類対象外
有機過酸化物:	分類対象外
金属腐食性物質:	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性(経口):	区分4
急性毒性(経皮):	情報なし
急性毒性(吸入・ガス):	情報なし
急性毒性(吸入・蒸気):	情報なし
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト):	情報なし
皮膚腐食性/刺激性:	区分2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性:	区分2A
呼吸器感作性:	情報なし
皮膚感作性:	情報なし
生殖細胞変異原性:	情報なし
発がん性:	情報なし
生殖毒性:	情報なし

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分3(気道刺激性)
 特定標的臓器毒性(反復ばく露): 情報なし
 吸引性呼吸器有害性: 情報なし
 環境に対する有害性
 水生環境有害性(急性): 情報なし
 水生環境有害性(慢性): 情報なし

ラベル要素

絵表示又はシンボル:
 注意喚起語: 警告



危険有害性情報

飲み込むと有害
 皮膚刺激
 強い眼刺激
 呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

【安全対策】

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
 蒸気/ガス/ミスト/ヒュームを吸入しないこと。
 この製品を使用する時は、飲食・喫煙を禁止すること。
 取扱い後は、よく手を洗うこと。
 屋外又は換気の良い場所で使用すること。
 環境への放出を避けること。

【応急処置】

飲み込んだ場合:直ちに口をすすぎ、うがいをする。コップ数杯の水を飲ませ、指を喉に差し込んで吐かせる。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける。
 皮膚に触れた場合:付着部位を大量の水と石鹼で洗浄すること。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診察を受けること。
 眼に入った場合:水で 15 分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合:医師の診断、手当てを受けること。
 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移して、呼吸し易い姿勢で休息させること。

【保管】 直射日光を避け通気性の良い乾冷場所に保管すること。

【廃棄】 内容物/容器は産廃法及び関連法規を遵守して廃棄すること。

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分: 混合物

化学名及び成分情報:

化学名	化学式	CAS番号	化審法官報公示整理番号	含有量(%)
炭酸カリウム	K ₂ CO ₃	584-08-7	(1)-153	非公開
リン酸水素二アンモニウム	(NH ₄) ₂ HPO ₄	7783-28-0	(1)-379	非公開

4.応急処置

飲み込んだ場合:

飲み込んだ場合:直ちに口をすすぎ、うがいをする。コップ数杯の水を飲ませ、指を喉に差し込んで吐かせる。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受ける。

皮膚に触れた場合:

皮膚に触れた場合: 付着部位を大量の水と石鹼で洗浄すること。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診察を受けること。

眼に入った場合:

眼に入った場合: 水で 15 分以上注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合: 医師の診断、手当てを受けること。

吸入した場合:

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移して、呼吸し易い姿勢で休息させること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤: 本製品は強化消火液応用製品(不燃性)である。

周辺火災においては、種類に応じて適切な消火剤(散水、噴霧水、泡消火剤、二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂など)を用いる。

使ってはならない消火剤: 棒状放水(本品があふれ出し、生物に対する有害性や環境汚染を引き起こすおそれがある。)

火災時の特有危険有害性: 火災によって刺激性又は毒性のガスを発生するおそれがある。

適切な消火方法: 本製品は強化消火液応用製品(不燃性)である。移動可能な場合は、容器を安全な場所に移動する。移動不可能な場合は容器に水噴霧して冷却に努める。

消火を行う者の保護: 火災状況に応じて防火服、自給式呼吸器、その他適切な防火用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項(保護具及び緊急時措置)

漏洩区域は、関係者以外の立入りを禁止する。

漏洩エリア内に立入る時は、保護具を着用する。

皮膚、眼などの身体との接触を避ける。

風上から作業し、蒸気やミストなどを吸入しない。

密閉された場所に立入る時は、事前に換気する。

環境に対する注意事項

漏出物が排水溝、河川等に流出しないように注意する。

除去方法(回収、中和、封じ込め及び浄化の方法・機材):

漏出物を土砂、おがくず、ウエス等に吸収させ廃棄用容器に回収する。その後水で洗い流す。

この場合廃液が河川等に流出しないように注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策: 取扱中は吸入・誤飲及び眼・皮膚等への接触を防止するために、保護手袋/保護衣/保護眼鏡などの適切な保護具を着用する。換気装置を設置し、局所排気又は全体換気を行なう。

安全取扱注意事項: 容器の破損につながる粗暴な取扱いをしない。不用意に開栓しない。取扱場所での飲食・喫煙を禁止する。内容物が誤って体に付着等した場合は「4 応急措置」に従って措置する。

保管

安全な保管条件: 容器の密閉を確認する。通気性の良い乾冷場所に保管する。容器への衝撃が発生しないように保管する。

安全な容器包装材料: 容器包装材料: ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラス等

混触禁止物質: 酸性物質、酸化剤

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

許容濃度: 日本産業衛生学会 設定されていない。
米国産業衛生専門家会議(ACGIH) 設定されていない。

設備対策 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。取扱い場所には局所排気又は全体換気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具: 保護マスク、自給式呼吸器
手の保護具: 保護手袋
眼の保護具: ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具: 長袖衣、保護靴

衛生対策 取扱い後は手顔等を水と石鹼で洗浄する。汚染衣類は洗濯して使用する。

9.物理的及び化学的性質

物理的状态

形状 透明液体
色 無色
臭い 無臭
pH 8.0~9.0

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

凝固点 -10°C
沸点, 初留点及び沸騰範囲 情報なし
引火点 情報なし
自然発火温度 情報なし
蒸発速度 情報なし
燃焼性(固体、ガス) 情報なし
燃焼又は爆発範囲
上限: 情報なし
下限: 情報なし
蒸気圧 情報なし
蒸気密度 情報なし
爆発限界 情報なし
比重 約 1.5
溶解性 情報なし
n-オクタノール/水分配係数 情報なし
分解温度 情報なし
粘度(粘性率) 情報なし
動粘度 情報なし

10.安定性及び反応性

安定性 通常の実験条件において安定である。

危険有害反応可能性 強酸と混触すると、反応し二酸化炭素を発生する。強酸化剤と混触すると激しく反応することがある。加熱すると二酸化炭素・アンモニアガスを発生する。

避けるべき条件 直射日光や高温多湿を避けて、なるべく乾燥した冷暗所に保管する。

混触危険物質 酸性物質、酸化剤

危険有害な分解生成物 加熱すると二酸化炭素・アンモニアガスを発生する恐れがある。

11.有害性情報

急性毒性(LD50) ラット経口 1870mg/kg(炭酸カリウム)
18570mg/kg(第二リン酸アンモニウム)

マウス経口 2570mg/kg(炭酸カリウム)

皮膚腐食性・刺激性 引き起こすことがある。	アルカリ性物質であるため皮膚刺激性があり発赤、痛みの症状を
眼に対する重篤な損傷・刺激性 ある。	短期暴露においても刺激性があり発赤、痛みをひきおとすことが
呼吸器感受性又は皮膚感受性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器(単回暴露)	情報なし
特定標的臓器(反復暴露)	情報なし
吸引性呼吸器有害性	情報なし

12.環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性(急性)分類根拠	情報なし
水生環境有害性(慢性)分類根拠	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

13.廃棄場の注意

廃棄方法(化学物質等及び残余廃棄物、汚染容器及び包装も含む): 関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄する。

汚染容器及び包装: 廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要がある。

14.輸送上の注意

国際規制 国連番号:	非該当
海洋汚染物質(該当・非該当):	非該当
国内規制:	特段の規制なし(非危険物)
特別の安全対策:	運搬に際しては容器から漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、破損の無いように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15.適用法令

国内法規

労働安全衛生法:	非該当
毒物及び劇物取締法:	非該当
消防法:	非該当
化学物質管理促進法(PRTR法):	非該当
船舶安全法:	非該当
航空法:	非該当
海洋汚染防止法:	非該当
水質汚濁防止法:	施行令第二条「アンモニウム化合物」 施行令第三条「水素イオン濃度」

輸出貿易管理令:

別表第1の16項(キャッチオール規制) 第28類 無機化学品
別表第1の16項(キャッチオール規制) 第31類 肥料

16.その他情報

引用文献等

独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)の化学情報
国際化学物質安全性カード(ICSC)情報(WHO/IPCS/ILO)
化学物質毒性評価リスト(NIOSH/RTECS)
International Uniform Chemical Information Database (IUCLID)
OECD:SIDS レポート (SIDS)
米国国立労働衛生研究所 (NIOSH) :RTECS
15710 の化学商品(化学工業日報社)
化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS)(化学工業日報社)等

<記載内容の取扱い>

本製品安全データシート(MSDS)は現時点で入手できる最新の資料、データ等に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、MSDS 中の注意事項は通常取扱いを対象としたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途・使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は、MSDS 記載内容について十分に注意を払っておりますが、その内容を保証するものではありません。